

2012年度 年刊



編集/発行：第3委員会

新会長「松井典夫」氏を迎え 新体制スタート

平成24年5月15日定期総会開催。前年度事業・収支報告及び新年度事業・予算計画、一部規約改定並びに役員改選が承認され新年度事業がスタート。



【会長挨拶】

只今、会長の命を受けました株式会社ジェイテックの松井典夫と申します。わたくしは平成12年に東海村の「旧動力炉・核燃料開発事業団（現 独立行政法人日本原子力研究開発機構・JAEA）」から日本原燃株式会社に出向してまいりました。当時、再処理工場は建設段階にあり、将来の試験運転と本格操業に備えて、保修部門の組織立ち上げに關わり、一貫して保修業務に従事してまいりました。その間、当協議会の設立準備及び設立後は、事務局的な立場で關わりを持たせていただきました。現在は、日本原燃の關連会社であるジェイテックに出向の身であり、昨年の10月から当社協阪直也(当協議会前理事)の後任として当協議会に参加させていただいております。皆様も御承知の通り、当

協議会は、六ヶ所村の産業と経済の発展を目的として設立されました。

当協議会は、六ヶ所村、原子力事業者である日本原燃、国内有数のプラントメーカーである三菱重工、東芝、日立GEニュークリア・エナジー、全国規模のメンテナンス会社として地元企業というそれぞれ立場の異なる5者が集まった協議体で、全国的に見ても類を見ない協議会として発足したわけです。設立当初は、参加40社余りであったわけですが、現在では70社に増え、地元勤労者の人材育成を目的とした技術支援基礎講座、ものづくり基礎技術基礎講座、各種作業主任者受講講座、メンテナンス実技訓練として地元企業経営層を対象としたマネジメント研修、各種公演会の開催、さらには各種親睦行事等と多岐に渡って事業を展開するに至り、まさに六ヶ所村の産業・経済の発展に大きく寄与してまいりました。

と確信しております。そして、当協議会がここまで発展し、多くの成果を成し遂げることが出来ましたのも、前会長である橋本良春氏の人望と強い指導力があつたからこそ成し得たことだと確信しております。東日本大震災として福島第一原子力発電所問題以降、原子力業界は非常に厳しい状況に置かれておられるわけですが、「こういう時だからこそ橋本会長に、当協議会の舵取役を継続していただく必要がある。」との思いで、強く慰留をお願いしたわけ

ですが、一身上のやむおえない理由により退任されるはこびとなりました。

この場をお借りしまして、改めてその功績には心から感謝の意を表すとともに御礼を申し上げます。そして、その後任に私がなるなどとは夢にも思わなかったわけでありまして、この場では、この経緯を申し上げることは差し控えますが、引き受けた以上は、当協議会の発展のため誠心誠意頑張るつもりでありますので、皆様方のご協力をお願いしたいと思います。

さて、会長就任にあたりまして、当協議会の発展及び六ヶ所村の産業・経済の更なる発展のためには、何が重要かということを私なりに考え、次の3点について取り組みを強化していきたいと考えています。

第一には当協議会組織(会員数)拡大。設立当初から、どちらかというと再処理工場のメンテナンス事業参加のための地元勤労者の人材育成及び経営層の意識改革といった重点を置いて活動を展開してきたわけでありましたが、ご承知の通り、日本原燃以外にも村内で事業展開されている企業・機関等、例えば国際核融合エネルギーセンター及び風力発電事業者、石油国家備蓄基地、環境科技術研究所などがあり、これらの事業者殿にも参加を広く求めるとともに、地元企業の様々な業種の方々に参加していただき、当協議会の活動を通じて新たなビジネスチャンスが生まれるならば、これはまさに当協議会の目的とする産業・経済の発展に繋がるものと期待されるからです。第二は、より地元のニーズにあつた活動を展開するため、今回理事の増員をご承認いただいたわけですが、各委員会の機能を強化し、新たな事業展開を図っていきたくと考えました。具体的には、新たな研修事業の発掘、会員相互の交流と親睦を深めるための活動を強化すること、組織の拡大・広報活動の強化としてその役割を担う第3委員会を立ち上げ活動を展開していきたいと考えて

おります。第三には、いよいよ再処理工場の竣工そして本格操業を目前に控え、やはり本工場の安定操業のためには、故障・トラブル時のメンテナンスの即応体制の確立が必要だと考えます。そこで地元企業として「果たすべき役割」、「求められるもの」、「どうあるべきか」ということを改めて検討する場を設け、当協議会の活動に繋げていければと考えております。

以上、微力ながら当協議会のさらなる発展のため頑張っていく所存でありますので、今後とも皆様方のご協力、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

六ヶ所高等学校 総合学習「村内企業研究会」に14社協力

平成24年6月19日 当協議会会員企業14社を含む、22企業・機関の協力により、同校総合学習「郷土企業を知る」をテーマに全校生徒(1年から3年生)179名参加にて開催される。本授業は、生徒の将来の職業選択



太平洋クリーンアップに 協賛し、汗を流す!

平成24年9月1日土曜日、六ヶ所村主催「第8回 太平洋クリーンアップ作戦」に会員39社233名を含む、参加総勢340名により、尾駮漁港から出戸地区に向け約3kmの海岸清掃に汗を流しました。



親睦ゴルフ コンペティション開催

平成24年10月6日土曜日 下北スリーハンドレットゴルフクラブにて29名の参加により開催されました。

【成績】優勝者・附田義美 準優勝・菅原晴夫、3位・沼尾修



八戸港湾復興状況視察

平成24年12月7日金曜日 会員24社35名参加により、八戸港湾復興状況等の視察を開催しました。国土交通省 東北地方整備局 八戸港湾・空港整備局事務所担当者2名の方の案内で船上から約1時間半にわたり港内施設等を巡り、被災状況と復興計画の説明を受けました。



### 役員会 県外原子力施設視察

平成25年2月3日から5日の間、六ヶ所村のご支援により、県外原子力関連施設視察に役員及び事務局19名が参加し実施された。

本視察は東日本大震災後における原子力施設の災害及びシビアアクシデント対策と高レベル放射性廃棄物の最終処分研究についての現状を知るために行われた。

1日目 中部電力株式会社『でんきの科学館』(愛知県名古屋市中)訪問  
同館は子供たちに科学の不思議と電気に関する興味を抱くように工夫され家族連れで、科学の不思議と知識を深める体験型の施設となっていると共に同社の発電事業に対する広報の場として市中心街に位置する。同社の原子力発電所の災害対策に対する広報状況視察のため訪問した。



2日目 独立行政法人日本原子力研究開発機構『東濃地科学センター』瑞浪深地層研究所(岐阜県瑞浪市)訪問  
現在、高レベル放射性廃棄物地層処分研究は同機構の2箇所の研究所で行われている。日本の深地層は結晶質岩と堆積岩層に分類され、同センターは前者であり、もう一方は幌延深地層研究所(北海道 幌延町)にて研究がこなわれている。研究状況の説明後、

深度500m立坑に1000m毎に水平坑道が設置され、地下3000m地点まで降りての見学を実施した。



3日目 中部電力㈱『浜岡原子力発電所』(静岡県 御前崎市)  
同発電所は沸騰型軽水原子炉5基(1・2号機は平成21年1月運転終了)の発電設備がある。当地域は「東海・東南海・南海三連動地震」の発生が想定され、菅元総理の「世界一危険な発電所」発言により運転停止要請を受け入れ、全号機が停止中であり、現在は「世界一安全な発電所」に向けて1千3百億円を費やしての安全対策強化工事である。同発電所PR拠点である『浜岡原子力館』にて概略説明後、発電所構内に入り、高さ22mの防波壁、施設浸水・耐震強化、外部電源施設等の工事状況の現地見学を実施した。

【お詫び】  
発電所は重要施設であり保安管理上の問題から写真掲載を控えます。

### 新たな会員30社が加入

24年度の取り組み強化の一つである『会員増強』への取り組み活動の結果、新年度に向けて新たに30社(表1参照)が加入予定。25年度は99社(普通会員94、特別会員5)となり、新たな力の加入により、更なる事業充実と展開を図る。

### 各種技術支援講座等 開催される

24年度は十種の資格取得講座・講習(表1参照)が開講され、総勢366名が受講すると共に会

議・情報交換会等表1参照が開催され技術向上の為の事業が活発に展開された。

表-1 新規加入企業 (順不同)

企業名	業名	名
青森NFCテクニカルサービス㈱	ATOM Works(株)	松尾建設(有)
㈱青森原燃テクノロジーセンター	㈱木内計測 青森作業所	六興電気(株) 六ヶ所作業所
青森エネテック(株)	日本原燃分析(株)	柏崎建設(有)
㈱シーエックスアール 六ヶ所出張所	(有)十和田タクシー	相和物産(株)
㈱ANOVA	テックプロジェクトサービス(株)	(有)十文字林業
㈱神戸製鋼所 原子力・CWD六ヶ所事務所	大羽建設(株)	㈱日立パワーソリューションズ 六ヶ所事務所
辰星技研(株) 六ヶ所支店	大泉建設(株)	㈱IHI 六ヶ所建設工事事務所
(有)ナスコ	㈱鷹架工務店	㈱アセンド 六ヶ所事務所
日本複合材料(株) 六ヶ所事業所	㈱鳥谷建設工業	東光鉄工(株)
㈱中村塗装店 青森営業所	小泉建設(株)	㈱エヌランド



横型ポンプ保修訓練



酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習



ものづくり基盤基礎講座修了式

表-3 会議・情報交換会等開催状況

名称	開催日	場所
定期総会	5月15日	六ヶ所村文化交流プラザ スワニー
役員会 第1回	4月20日	六ヶ所村文化交流プラザ スワニー
第2回	5月15日	六ヶ所村文化交流プラザ スワニー
第3回及び役員歓迎会	6月13日	Casul French North40-40(三沢)
第4回	7月13日	六ヶ所村分庁舎
第5回	8月24日	六ヶ所村分庁舎
第6回及び役員歓迎会	9月19日	鮎瀬薬一(三沢)
第7回	10月17日	六ヶ所村分庁舎
第8回	11月14日	六ヶ所村分庁舎
第9回	12月12日	スパハウスろっかほっか
第10回	1月16日	六ヶ所村分庁舎
第11回	2月13日	六ヶ所村分庁舎
第12回	3月13日	六ヶ所村分庁舎
会員視察研修	12月7日	八戸市港濱施設等
役員原子力施設視察	2月3~5日	岐阜・愛知・静岡県
親善ゴルフコンペティション	10月6日	スリーハンドレットゴルフクラブ
会員懇親会 第1回	5月15日	六ヶ所村文化交流プラザ スワニー
第2回	12月7日	鮎瀬薬一(三沢)
第3回	2月27日	六ヶ所文化交流プラザ スワニー

表-2 資格取得講座・講習会等開催状況

①資格取得講座	開催	人数	場所
有機溶剤作業主任者	6月23日~24日	50	原燃テクノロジーセンター
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	10月19日~21日	55	原燃テクノロジーセンター
②技術訓練支援	開催	人数	場所
ものづくり基盤基礎講座(1年コース)	6月9日~12月2日(14日)	9	六ヶ所村中央公民館
ものづくり基盤基礎講座(2年コース)	5月19日~11月4日(14日)	9	東北職業開発大学校(五所川原市)
弁保修訓練	12月8日~9日	8	原燃テクノロジーセンター
横型ポンプ保修訓練	2月23日~24日	8	原燃テクノロジーセンター
③技術支援マネジメント講習・講演	開催	人数	場所
技術支援基礎講座	4月18日~20日(3日間)	20	六ヶ所文化交流プラザ スワニー
マネジメント実務講習	3月16日	41	六ヶ所村中央公民館
マネジメントセミナー2013	2月27日	112	六ヶ所文化交流プラザ スワニー
ISO9001 要求事項解釈コース	3月23日	54	六ヶ所文化交流プラザ スワニー



役員会及び役員歓迎会



奉仕活動：太平洋クリーンアップ作戦



技術支援基礎講座



マネジメントセミナー